

**テーマ** 心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう**目標** 学校・家庭・地域が一体となり、地域交流事業に取り組み、「つながる力」を育てる。

## 今年度の取り組み紹介

幼稚園、小学校でお世話になった子どもたちが、地域への恩返しとして、中学生になると地域に出向き、公園の清掃や、自治会の祭り、防災訓練の準備、運営のお手伝いをします。

野神公園の清掃作業、西大寺夏祭りのテント張りや撤収作業、伏見まつりへの参加、西大寺北自治会の防災訓練においての、テント張り、炊き出し手伝いなど。中学生は、いずれは地域のリーダーとなるために、積極的に参加し、地域の方々と親交を深めます。今年度は、訓練に参加し、体験することで、より、防災意識を高めることが出来ました。

また、今年度新たな取り組みとして、中学生徒会と、話し合いの場を持ちました。生徒会の年間目標を垂れ幕にして、校舎の壁面に掲げたいとの要望に応え、協議会のテーマも並べることで、より地域に発信することができました。



## 今年度のまとめ

地域の行事への、参加協力は、子ども達の中でも定着しつつあり、一人一人の力が、地域に役立っていることへの、充実感や、責任感が芽生えてきています。地域の方々も、見守りながら、頼りにしている面もあり、お互いにとって良い効果が表れているようです。

## 来年度に向けて

この事業をより地域に発信したい。その方法として、小学校児童会にも出向き、校区にのぼりをたてる、中学の行事を一部協議会主催とし、子ども達も地域の方々も一堂に会する機会を設けたいと思っています。

テーマ

## つながる力を育てよう

目標

学校・家庭・地域が協働できる仕組みとよりよい関係作りを進める。

### 今年度の取組紹介

地域連携を主軸とした、「地域に開かれた学校、信頼される学校」を目指し取り組みました。

#### ボランティア活動（通年）

コーディネーターを中心に、図書・環境・部活動巡回の各ボランティアで支援をいただき、教育環境の美化や、生徒たちの安心・安全な活動が行うことができます。また、生徒も地域の諸活動に積極的にボランティアとして参加しています。



#### ふれあい体育大会（10月1日）

保護者・地域住民の約1000名参加の下、ふれあい体育大会を開催しました。保護者・地域の方々も参加できる種目を設け、中学生の迫力のある競技や発表など、地域交流と地域への発信の役割を果たしています。

#### 生徒会と協議会の話し合い

今年度初の試みとして、生徒会スローガンの垂れ幕作成を生徒会役員と協議会役員が話し合いの場を設け、地域共通テーマとともに作成・掲示することができました。



### 今年度のまとめ

生徒が地域交流事業・地域ボランティアやふれあい行事推進事業に積極的に参加することで、地域とのつながりや信頼関係が深まってきています。生徒も地域から頼りにされることを肌で感じ、ボランティア活動が活性化されています。昨年度に比べ、参加するだけでなく参画できることが少し増えました。また、スローガンの垂れ幕作成など、学校から地域への積極的な発信に向けて取り組むことができました。

### 来年度に向けて

生徒会を中心とした地域交流やボランティア活動への参加はもちろんのこと、各活動において何らかの役割を担うことで、より積極的に地域貢献を果たしていきたいと思えます。また、学校への支援活動充実のために、情報発信・啓発活動にも力を入れ、コーディネーターやボランティアによるよりよい体制づくりに取り組みたいと思えます。

テーマ

## 「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～

目標

- ・ 伏見の町の、人、物、文化、歴史に興味をもち、学習に生かし、学習の成果をまとめ発信する。
- ・ 多くの地域の人々と関わることで、人の思いや願いに気づき、人の気持ちを分かろうとする態度を身に付ける。
- ・ 伏見の町の良さに気づき、郷土愛を育み、伏見の町に貢献しようとする態度を育てる。

### 今年度の取組紹介

「子どもの笑顔が地域を笑顔に」をスローガンとする「伏見まつり」を、地域の諸団体、PTA、学校が連携して開催しました。伏見中学校ギターマンドリンクラブによる演奏会、自主防災防犯協議会による防災訓練等多くの内容を盛り込み、地域の方々、子どもたち、学校教職員が、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。学校からは模擬店を出店しました。当日は約1,400名の参加がありました。



本校では、教科等の年間指導計画に基づき、子どもたちの活動のお手伝い、体験学習の補助、ゲストティーチャー等、地域の方々と子どもたちとが様々な形で関わる機会を設けています。本年度は、福祉体験学習や絵本の読み聞かせ活動等を行いました。このことによって、学習の場が和やかになる、互いに協力し合う雰囲気が形成される等の効果を得ています。子どもたちも、地域の方とふれ合ったり、一緒に活動したりすることをごく自然なこととしてとらえています。地域を知ることとともに、地域への愛着や人を大切にする心情が育ってきていると考えています。

### 今年度のまとめ

次のような様子から、教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係づくりの面において、一定の効果を得ることができたと考えています。

- ・ 子どもたちの地域に対する愛着、関わってくださる方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・ ホームページの充実等、学習成果の発信を積極的に行えるようになってきました。
- ・ 地域の方々の学校教育活動への参加や、学校の地域行事への参加を円滑に行えました。
- ・ 伏見まつりへの教職員の参加等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに示すことができました。

### 来年度に向けて

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加が徐々に進んでいますが、継続的かつ安定的な人材の確保が今後引き続きの課題であると考えています。

**テーマ** 出会いと体験から豊かな学びをー地域ぐるみの子育てー**目標**

- ・地域の行事等に参加し協働することで地域との繋がりを確実なものとする。
- ・地域の人とともに豊かな学びを支える価値ある体験活動に取り組む。
- ・地域の人たちの支えのもと、自ら本を手にする児童を育成する。
- ・学校及び近隣の美化環境づくりを実施することで奉仕する心を培う。
- ・授業改革に取り組み「生きる力」を身につける豊かな学びを創造する。

## 今年度の取組紹介

○「学習支援ボランティア」の事業が年間を通して展開されています。その中の一つに「芋苗さし」があります。5月31日には、1年生とわくわく学級の児童で作物を作る学習をしました。地域の皆さんから畑に畝を作る様子を見せていただき、鍬をととても巧みに扱われる様子に感心させられました。また、芋のつるを見せてどの部分を土の中に入れてよいかを詳しく教えていただきました。教えていただいたことをよく思い出して一人1本ずつつるの苗をさしました。大きなサツマイモができることを楽しみに地域の方々と一緒に待つことにしました。



○1月27日に1年生の「昔の遊びをしよう」がありました。2年生81名が体育館で折り紙、あやとり、羽子板、けん玉、おはじき、手作りおもちゃ、お手玉、こま、だるま落とし、めんこ、ビー玉の11種類のコーナーを回って地域の方々に遊び方を教えてもらいました。作り方や遊び方、ルールや注意することなどを手本を示しながらやさしく教えていただいたのでとても楽しい学習の時間になりました。



## 今年度のまとめ

校舎建て替え工事に関連する影響も随分小さくなり、地域のみなさまのご協力によりまして様々な事業・行事を以前と同じような形で進められるようになってまいりました。同時に、学校と地域の連携が深まり交流の幅を広げることができました。かかわってくださったボランティアさんの累計は1600名を超え、テーマの「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てーにより迫ることができたと感謝しております。

## 来年度に向けて

次年度も「地域ぐるみの子育て」をテーマとして継続して取組を進めたいと考えています。本年度以上に学校から地域へ出て行き、人々と繋がり、交わる活動を推し進めていきたいと考えています。

また、PTA・保護者に対して本事業への理解をさらに深めていただくための取組も行いたいと考えています。引き続きご協力をよろしく願いいたします。

テーマ

**自分が好き、友達が好き、この町が好き**な西北っ子

目標

自分たちの暮らす地域についてよく知り、支えてくれている地域の人たちがいることを感じられる行事を通じ、自分や友達の良さを発見していく。

今年度の取組紹介

## ◆昔あそび (1月31日火曜)

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々に来てくださいます。子どもたちも楽しみにしている行事で、今年も多くの方々が教室でコマ回し、あやとり、百人一首(ぼうずめくり)、お手玉、けん玉など様々な遊びを教えに来てくださいました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとのつながりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。



## ◆能体験・鑑賞 (11月30日水曜)

日本の伝統芸能である能を体験・鑑賞します。地域にお住まいの金春穂高さんはじめ10名ほどの方々に来校していただき、能のお面をつけての歩き方や所作、和楽器(鼓・小太鼓・横笛など)の演奏を教わりました。体育館で各ブースに分かれ、子どもたちは順番にすべてを体験していきました。その後、能の鑑賞として目の前で迫力ある舞台を見せていただきました。日頃できない貴重な体験ができました。



今年度のまとめ

本校ではコーディネーターさんが大変活動的に「放課後子ども教室」「わんぱく広場」を運営してくださり、子どもの参加もボランティアさんの参加も年々増えています。また、地域の防災訓練では本校を会場に、小中一貫教育の取組として伏見中学校が参加、夏休みの親子清掃には平城中学校が参加してくれました。本校は2つの中学校に進学するので、地域も2つにまたがり交流を深めることができます。昨年度からは6年生が「平城“食と農”ふれあいフェスタ」にも1日参加するようになって、より地域に親しみをもつ機会が増えました。こういった積み上げによって自分の地域をよく知り、また地域の方々に支えられていると感じ、自尊感情や地域を愛する心を育てていきたいと思っています。

来年度に向けて

今年は学校としてホームページの更新に力を入れ、学校の取り組みや地域との交流を逐次載せて更新しました。しかし、保護者にも地域の方にもあまり見てもらえなかったもので、今後はより多くの方にアクセスしてもらえるようさらに努力し、地域行事の紹介にも力を入れていきたいと思っています。

## テーマ いきいき・わくわく・のびのび伏見っ子

- 目標
- ・地域の日本古来の文化や自然環境に触れる機会をもち、地域の日本古来の文化や自然環境に触れる機会をもち、まわりの人々に感謝し、自分の町を愛し守っていく心を育む。
  - ・子ども、保護者、地域の方、小学生、中学生、教職員と触れ合い、温かいまなざしを受け、自己肯定感を高める。

### 今年度の取組紹介

#### ー園外保育「喜光寺」ー



1学期と3学期に地域にある喜光寺へ園外保育に出かけ、副住職の講和に耳を傾け、自分たちの住んでいる場所には日本古来の文化があることを知りました。

蓮の開花や初詣と時期に応じた自然環境にも触れることが出来、子どもたちの感動体験の一つとなりました。



#### ーABCで遊ぼうー

子どもたちが、毎回楽しみにしている「ABCで遊ぼう」（英語）は五感を使って楽しく学んでいます。クラスごとに、時期に応じたいろいろな言葉の発音、図形認識、会話、リズム遊び、絵本読み聞かせ等を毎月積み重ねることで、子どもたちは、日常会話の中にも英単語が混ざることもあり、英語を身近なものと感じていくと感じられました。



### 今年度のまとめ

～つながろう・学びあおう・地域と共に～のサブタイトルを基に、地域の皆さんや多くの方々の協力を得、感動体験をする事ができました。特に「自分の町を愛し守っていく心を育む」取り組みでは、地域の日本古来の文化や自然環境に触れる機会として、園外保育に保護者も参加し、地域の日本古来の文化や自然環境に触れる機会を共に持つことが出来ました。喜光寺に参加した方から「近くにいっても知らないことやなかなか個人では聞けない話を住職さんから聞いてよかったです。」「とても、身近に感じました。」という感想を多く戴き、自分の町を愛することへと繋がりました。

### 来年度に向けて

子どもたちを取り巻く環境の中で、より豊かな感動体験の創造と家庭・地域との協力体制の強化に努めると共にさらに地域の教育力を十分活かせるようにしていきたいです。

テーマ

**園・家庭・地域 笑顔でつなごう手と心**

目標

**園・家庭・地域が互いに心を通わせ、みんなが育ちあう園づくり**

今年度の取組紹介

◆ **ちびっ子探検隊**

- ・地域の方が隊長となり、毎月1回地域自然探検をしています。隣接する“子どもの森”や神社・小学校の裏庭・地域の空き地や池などに出かけて草花や木の実で遊んだり、池に沈む戦争中のボートの話を聞いたり、秋の七草を探したりして毎回、わくわくドキドキの貴重な体験となっています。
- ・園児の安全確保と園教育への理解を深めてもらうため、5歳児の保護者にも参加してもらっています。

◆ **体操の日**

- ・年5回、地域の講師の方を招き、園児のリズム遊びや運動遊び・未就園児クラスの親子体操などの活動をしています。色々な動きを楽しみながら、心地よい汗をかくことで運動遊びへの興味が高まり、心と体の健康増進につながる取組となっています。
- また、運動会では親子でストレッチをした後、曲に合わせて全身を使って準備体操をすることで、なごやかな雰囲気の中、リラックスして運動会を始めることができ、生き生きと活動できました。



今年度のまとめ

- ◆ **ちびっ子探検隊**…地域に出かけ、五感を働かせる体験活動となっています。保護者に参加してもらうことで親子の語らいが増え、自分達の住む地域のすばらしさと愛着を感じています。保護者からは、「へえー、ほおーと、隊長の話はとても興味深く知らないことだらけ。ほっこりとする素敵な時間でした。」と感想をいただいています。
- ◆ **菜園活動**…地域の農園ボランティアの方と一緒に育てた野菜を、カレー・味噌汁などに調理して地域交流会で交流し一緒に食べることで、食わず嫌いや野菜嫌いを克服したり、収穫して持ち帰って家族で食べることで食育への意識も高まっています。
- ◆ **体験活動**…「お茶の日」・「習字の日」では講師を招聘し、年間5回以上活動を重ねることで、日本の伝統文化に触れ、本物に触れる体験活動となっています。また、おもてなしの気持ちから、相手を思いやる心や礼儀作法の習得につながっています。

来年度に向けて

- ◆ 今後も家庭や地域の方々と心を通わせ、つながりが深められるように園教育への理解と協力が得られるように積極的に働きかけていきたいと思えます。
- ◆ 園周辺に公園が少なくボール遊びをする機会が少ないことから、来年度は、「サッカーで遊ぼう」の活動回数を増やし、月1回実施していく予定です。

テーマ

**身近な人と人との輪の中で「まなび」「育み」「輝く」子ども**

目標

**地域・人との関わりの中で、主体的に活動する子どもを育てる**

今年度の取組紹介

**「なかよし広場」～地域の未就園児の親子との触れ合いを通して～**

保護者の方に園の取組を知ってもらい、未就園児には園生活に慣れることを目的とし、なかよし広場を年11回実施しています。その中で、4歳児と親しみをもってかかわる交流活動（体操やかっこ等）を計画的に取り入れています。最初は、お互いに恥ずかしかったり、かかわり方が分からなかったりする姿がありましたが、回を重ねるごとに4歳児は、優しく仕方を教えたり、別れる時に手を振ったりするようになり、自分たちは「お兄さんお姉さんだ」という自覚が見られるようになりました。未就園児も、少しずつ緊張感がとれ、保護者から離れて輪の中に入れるようになりました。地域のボランティアの方たちはいつも優しくかかわり、活動がスムーズに行われるようにお手伝いしてくださりました。活動後、未就園児の保護者の方からは「園でどのようなことをするのがわかり、とてもいい機会になった」「お兄ちゃんやお姉ちゃんたちと一緒に遊べて楽しかったみたい」「幼稚園に来るのが楽しみ」という感想をたくさんいただきました。

**「お話こんにちは」～地域のゲストティーチャーによる読み聞かせを通して～**

年間（月3回）、地域のゲストティーチャーの方に園児に絵本の読み聞かせをしていただいています。いろいろな絵本に親しむことで、豊かな心を育み、話を聞く力も身につけてきています。子どもの興味や季節に応じたもの、発達段階を考慮した絵本を選んでくださり、どの子も楽しみにしている時間です。保護者からは、幼稚園で読んでもらった絵本が気に入って、家庭で購入し、繰り返し見ているという話も聞かれました。



今年度のまとめ

昨年度の課題から、今年度は「なかよし広場」（未就園児保育）の充実を図りました。子どもも保護者も、地域の幼稚園で触れ合いの場を求められる方が多く在園児とともに楽しくかかわって遊べるように活動内容を考え実施しました。在園児も共に活動することで慣れ親しみ、少しずつ自分なりに優しく接したり声をかけに行ったりして、楽しく生き生きと活動する姿が見られるようになりました。昨年度より引き続き、同じゲストティーチャーの方に来ていただいたことで、5歳児は特に親しみをもってかかわるようになり、意欲的に様々な活動に取り組んでいました。ゲストティーチャーの方も1年あるいは2年の子どもの育ちを見てくださり、地域と園との協力体制で主体的に活動する力が身につけてきているという実感も持てました。

来年度に向けて

子どもにとって、とてもいい経験になっている活動であると実感していますので、来年度も継続した取組を実施していきたいです。今年度の活動について反省評価をし、子どもたちにとってより良い経験となるように計画していきたいです。